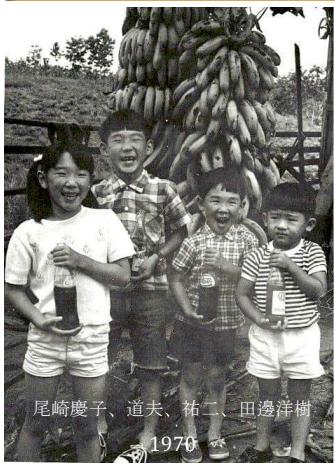


# 田辺 農園

SINCE 1991



## PROGRAM NOTE

2020年4月

### 田辺バナナ農園の今 2代目農園主 田辺正裕

南米エクアドル・サントドミニゴの田辺バナナ農園訪問記を「アンデスの声」から放送していただいたのが1995年の5月でした。何とあれから四半世紀の月日があつという間に流れてしまい、状況も大きく変わりました。1963年に開拓農業を手がけた両親は他界、私は現地の中央大学を卒業した後、父の農場を借りて自然循環型農法によるバナナ栽培に夢を託し、45ヘクタールから始めたのですが現在では350ヘクタールとなり、従業員も約550人を抱え、全員正規雇用の大規模バナナ農園に育てることができました。

田辺農園は私が2世代目。68歳ですが現役です。日本人としては17歳年の離れた弟の洋樹が手伝ってくれており、他2名の日本人スタッフがバナナ栽培、経営に参加してくれています。また田辺農園バナナの輸出関連業務では、共同経営者である内田渥さんと長女直さんも加わって運営されています。正にファミリー農園で、みんなで仲良く働いています。

1995年はまだ小さなバナナ生産者で、エクアドル国内で現地輸出手会社にバナナを販売するだけだったのが、2005年からANAグループ全日空商事会社が田辺農園バナナを全量取り扱うこととなり、田辺農園は独立して、独自でバナナを日本に輸出しています。日本の販売元は全日空商事の子会社であるANAフーズ社で、エクアドルからの田辺農園バナナ輸出量は40フィートの大型コンテナで毎週20本以上が日本に送り出されています。日本では「田辺農園バナナ」というブランドで販売されており、日本全国の各地代表的なスーパー・マーケットに並んでいます。関東では、成城石井、マルエツ、イトーヨーカドー、ベルク、東急ストア、ライフ等々、またコンビニではローソンが全国展開をしています。

田辺農園は自然との共存共栄を理念とし、一般的な工業製品的栽培ではなく、昔ながらの農産物として出来るだけ自然な形で栽培することをモットーとしています。25年前から行っていたミニズ堆肥は規模を拡大して引き続き行われていますし、廃棄バナナとパルミートの残渣で作る「ぼかし」という発酵堆肥、そして牛糞をベースとした液肥も自家製で作られます。田辺農園では規格外ではねられた廃棄バナナは全て堆肥に利用されて、また畑に還元されます。除草剤、化学肥料を使わない、いわゆる自然循環型農法を実践しています。バナナの肥料からまたバナナが生まれる。バナナがバナナを育てているバナナなのです。だから、安全安心で美味しいバナナであることが言えると思います。この度、田辺農園バナナのロゴ、ラベルリニューアルを行い、3月13日までアンケートキャンペーンを行いました。今後も皆様に親しまれる美味しいバナナ作りを続けてまいりますので何卒皆様のご支援のほど宜しくお願い致します。

#### サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫 每週土曜日放送	淀橋教会 峰野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送
04月04日 「アンデスの声」 北米リスナー 蓮子哲哉	04月05日 リスナーからの「お便り交換の時間」
04月11日 イースター特集：キリストの受難・十字架（前編）	04月12日 イースター特集：キリストの復活（後編）
04月18日 田辺バナナ園は今（1）	04月19日 リスナーからの「お便り交換の時間」
04月25日 田辺バナナ園は今（2）	04月26日 旧約聖書 創世記（11）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただきます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz （再放送） 午後8時～8時30分 15.565kHz  
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

\*受信報告書をメールで送る場合：[hcjbjapan.office@gmail.com](mailto:hcjbjapan.office@gmail.com)

